

博報堂生活総合研究所 生活者にきいた“2021年 生活気分”を発表

● 2021年の景気予想は「良くなる」が過去最高

一方、2020年の景気については、「悪かった」が過去最高で79.3%。

来年の景気は「良くなる」と思う理由では、「コロナの収束や反動」が最多

● 2021年は「旅行」、「貯金」、「外食」にお金をかけたい

2021年にお金をかけたいものの上位3位(旅行、貯金、外食)の数値は、いずれも「今年お金をかけた」を上回る。特に「旅行」では来年(28.9%)と今年(8.0%)の差が+20.9ptと大きい

博報堂生活総合研究所は、2015年から毎年秋に翌年の景況感などについて、全国の20～69歳男女3,900人に予想してもらって調査を実施しています。このたび最新の調査を加え、“2021年 生活気分”としてまとめました。

今回の結果では、今年の景気が「悪かった」、来年の景気は「良くなる」がともに過去最高を記録。また、来年は今年よりも多くの物事にお金をかけたいという意識が高まっています。コロナ禍で景気や行動が停滞したためか、来年への期待や意欲を高める生活者像がみえてきました。

“2021年 生活気分”調査結果のポイント

2021年の景況感

今年の景気が「悪かった」ことの反動もあり、来年の景気予想は「良くなる」が過去最高

- 今年の「世の中の景気」は、「悪かった」が79.3%で前回調査(33.3%)から+46.0ptの激増で過去最高を記録。
- 来年の「世の中の景気」は、「良くなる」が22.8%で過去最高。「悪くなる」は35.9%で前回(41.5%)より-5.6ptと、好転予想が目立ちます。
- 「良くなる」と思う理由(自由回答)を集計したところ、「コロナの収束や反動」が全回答数の半数(49.0%)、「今が底、今後は上昇」が1/5(19.3%)を占めます。コロナ禍で絶不調だった今年の景気の反動で良くなる/良くなってほしいと期待を込める生活者が多いようです。
- また、来年の「自分の家計状態」予想は「変わらない」が前回(50.8%)から+7.4ptで58.2%となりました。逆に、「悪くなる」は前回(37.8%)から-8.5ptで29.3%となりましたが、「良くなる」(12.5%)を大きく上回ったままです。

2021年 世の中の変化予想

今年の変化は「多かった」が激増で約8割。来年「多くなる」との予想も増え、約半数に

- 今年の「世の中の変化」は、「多かった」が前回調査から2倍以上増えて、約8割(79.0%)となりました。
- 来年の「世の中の変化」予想も同様に、「多くなる」が前回から大きく増加して、約半数(49.1%)に至りました。
- 「多くなる」と予想する変化(自由回答)をみると、「コロナと共存するための新しい生活様式」(全回答数の27.7%)が最も多く挙がりました。他にも、「コロナによる自粛や制約」(11.8%)、「デジタル化の加速」(9.4%)、「働き方の変革」(5.8%)など今年変化したことが、来年さらに変化するという予想が目立ちます。

2021年に お金をかけたいこと

1位「旅行」、2位「貯金」、3位「外食」。いずれも「今年お金をかけた」を上回る

- 「来年お金をかけたいもの(全25項目)」の上位3位は「旅行」(28.9%)、「貯金」(26.1%)、「外食」(22.2%)。その数値は、いずれも「今年お金をかけた」を上回っています。特に、「旅行」では来年と今年の差が+20.9ptと大きくなっています。
- 他にも、6位「レジャー」(来年16.3%、今年4.3%、差+12.0pt)、14位「イベントやライブ、フェス」(来年8.7%、今年1.6%、差+7.1pt)でも来年と今年の差が目立ちます。
- 逆に、5位「ふだんの食事」は今年32.3%に対し、来年の意向は18.5%と低く、その差は-13.8ptとなっています。今年はコロナ禍で外食やレジャーの自粛などを強いられたせいもあり、来年はハレの消費への意欲が高まっているようです。

2021年に 始めたい/やめたいこと

始めたいことは「運動・体操・筋トレ」、やめたいことは「無理しての人付き合い」

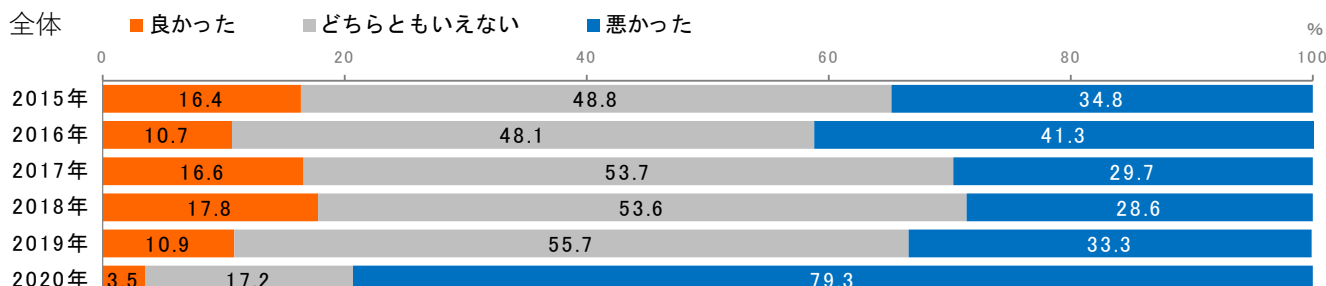
- 来年始めたいことがある人は27.5%、「来年やめたいことがある」人は18.7%で、ともに減少傾向で過去最低となりました。
- 「始めたいこと」では、「運動・体操・筋トレ」(29.2%)がトップで、「貯蓄」(25.1%)、「副業」(24.9%)が上位3位となっています。
- 「やめたいこと」は「無理しての人付き合い」(31.8%)が3割を超えてトップ。次いで、「無駄遣い・衝動買い」(28.6%)、「食べ過ぎ・飲み過ぎ」(24.8%)までが上位3位。無理や過剰を抑制しようとする生活者の意識がみえてきます。
- 「始めたいこと」、「やめたいこと」とともに、男性よりも女性の値が高いものが目立っており、「やめたいこと」の6位「スマホの使い過ぎ」、7位「お菓子・甘いもの」で男女差が15pt以上となっています。

今年の景気が「悪かった」ことへの反動もあり、来年の景気予想は「良くなる」が過去最高

- ・今年の「世の中の景気」は、「悪かった」が79.3%で前回調査(33.3%)から+46.0ptの激増で過去最高を記録。
- ・来年の「世の中の景気」は、「良くなる」が22.8%で過去最高。「悪くなる」は35.9%で前回(41.5%)より-5.6ptと、好転予想が目立ちます。
- ・「良くなる」と思う理由(自由回答)を集計したところ、「コロナの収束や反動」が全回答数の半数(49.0%)、「今が底、今後は上昇」が1/5(19.3%)を占めます。コロナ禍で絶不調だった今年の景気の反動で良くなる/良くなってほしいと期待を込める生活者が多いようです。

今年の「世の中の景気」

今年の「世の中の景気」は、どうだったと思いますか(単一回答)



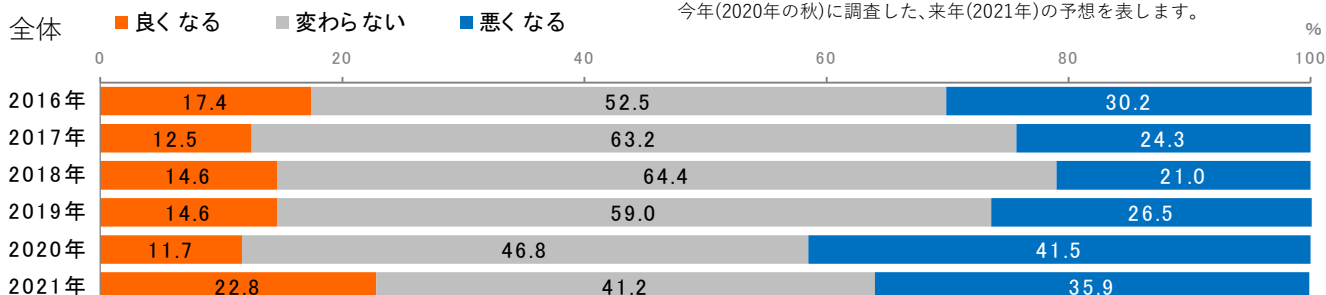
性別(2020年)



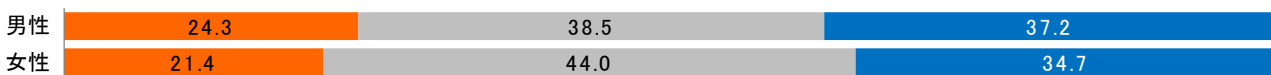
来年の「世の中の景気」予想

来年の「世の中の景気」は、今年と比べてどうなるとと思いますか(単一回答)

※西暦は生活者に予想してもらった「翌年」を指す。例えば、「2021年」の数値は今年(2020年の秋)に調査した、来年(2021年)の予想を表します。



性別(2021年)



「良くなる」と思う理由

※自由回答を集計したトップ5。%は「良くなる」と回答した人ベースで算出 (全体890人 男性472人 女性418人)

順位	理由	全体 (%)	男性 (%)	女性 (%)	男-女 (pt)	理由の具体例
1位	コロナの収束や反動	49.0	49.8	48.1	+1.7	・コロナが収束することにより、今年控えていた人が外出、旅行、消費活動を行うから(男性25歳・広島県) ・今年はコロナで全体的に悪かったが、来年は収束に向かい景気は回復してくると思う(女性61歳・大阪府)
2位	今が底、今後は上昇	19.3	21.2	17.2	+4.0	・今年は景気の底をついた感じがするので、これ以上は悪くならず上がっていくだろう(男性46歳・新潟県) ・今が底だと思いたいし、これだけ下がったら、次は上がるしかない(女性40歳・石川県)
3位	経済の好転	16.2	13.3	19.4	-6.1	・感染対策に慣れて、経済活動が今年より活発になると思うから(男性61歳・兵庫県) ・だいぶん人が外出する流れが出てきたので、来年にはもっと活性化するとと思う(女性44歳・神奈川県)
4位	希望的観測	10.1	8.9	11.5	-2.6	・コロナが落ち着いて、人も経済も良くなってほしいという希望を込めて(女性31歳・新潟県) ・来年はコロナとつきあっても踏まえて良くなってほしいという願い(女性32歳・愛知県)
5位	東京2020オリンピック・パラリンピック等の開催	8.7	6.4	11.2	-4.8	・オリンピックが開催されることで景気の良い影響があると思う(男性45歳・東京都) ・来年はオリンピックもあるので今年よりは良くなると思う(女性32歳・石川県)

「悪くなる」と思う理由

※自由回答を集計したトップ5。%は「悪くなる」と回答した人ベースで算出 (全体1,402人 男性724人 女性678人)

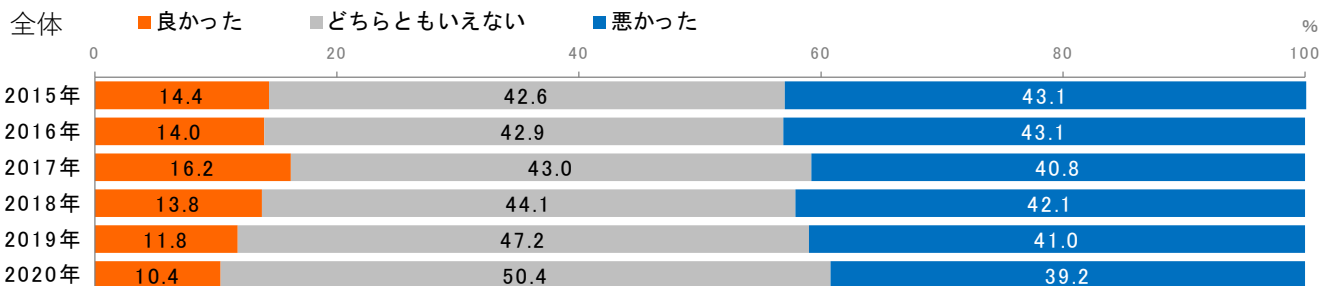
順位	理由	全体 (%)	男性 (%)	女性 (%)	男-女 (pt)	理由の具体例
1位	コロナの長期化	52.8	48.8	57.1	-8.3	・新型コロナウイルス感染症の経済への影響がまだまだ続くと思う(男性27歳・静岡県) ・まだコロナが収束するまでは、解雇や減収入、倒産があると思う(女性52歳・静岡県)
2位	景気低迷の継続	14.3	15.6	12.8	+2.8	・景気が短期間で回復するとは思えない。1年以上は右肩下りの状況が継続する(男性58歳・広島県) ・良くなる要素ない。既に悪くなっているから回復するのは至難の業だと思う(女性53歳・北海道)
3位	企業の業績悪化	12.5	9.0	16.2	-7.2	・企業の統廃合がさらに加速する。いる仕事といらぬ仕事とが鮮明になる(男性48歳・千葉県) ・今まで頑張って持ちこたえていたところが倒産する可能性があるから(女性48歳・大阪府)
4位	消費の冷え込み	8.9	7.6	10.3	-2.7	・Go Toや支援金で景気がまだけど、なくなったらみんなお金を使わなくなると思う(男性21歳・愛知県) ・急になんの心配もなくなると考えにくく、消費がなお悪くなるのではないかとと思う(女性34歳・千葉県)
5位	雇用状況の悪化	7.6	5.4	9.9	-4.5	・雇止めされた労働者の受け皿がないと社会がガタガタになったままだと思う(男性36歳・埼玉県) ・企業は慎重になるため、雇用環境や待遇が悪くなり消費が進まない(女性47歳・東京都)

来年の家計予想は「変わらない」6割、「悪くなる」3割。悪くなる理由は「収入の減少」

- ・今年の「自分の家計状態」は「良かった」、「悪かった」ともに前回調査から微減。「どちらともいえない」が微増で5割(50.4%)に。
- ・来年の「自分の家計状態」予想は「変わらない」が前回(50.8%)から+7.4ptで58.2%となりました。逆に、「悪くなる」は前回(37.8%)から-8.5ptで29.3%となりましたが、「良くなる」(12.5%)を大きく上回ったままです。
- ・「悪くなる」と思う理由(自由回答)をみると、「収入の減少」が全回答の半数弱(45.2%)を占め、トップ。「仕事量の減少や退職、失業」(16.7%)、「景気低迷の継続」(11.4%)を危惧する意見も目立ちます。

今年の「自分の家計状態」

今年の「あなたの家計状態」は、どうだったと思いますか(単一回答)



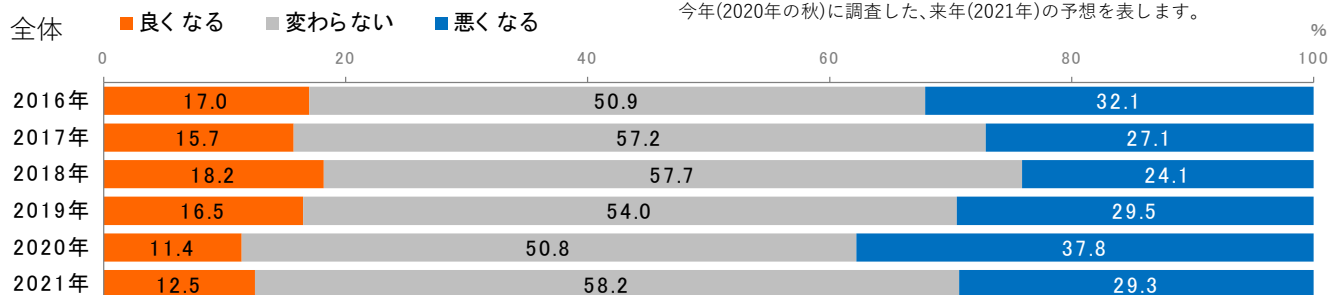
性別(2020年)



来年の「自分の家計状態」予想

来年の「自分の家計状態」は、今年と比べてどうなると思いますか(単一回答)

※西暦は生活者に予想してもらった「翌年」を指す。例えば、「2021年」の数値は今年(2020年の秋)に調査した、来年(2021年)の予想を表します。



性別(2021年)



「良くなる」と思う理由

※自由回答を集計したトップ5。%は「良くなる」と回答した人ベースで算出 (全体488人 男性267人 女性221人)

順位	理由	全体				理由の具体例
		全体	男性	女性	男-女	
1位	収入の増加	28.5	28.1	29.0	-0.9	・経済が回復傾向になれば、今の減給などもなくなり家計も少しは回復すると思う(男性31歳・石川県) ・時短営業で給料が減った月があったが、来年はちょっとでも年収が上がると思う(女性24歳・新潟県)
2位	就職や転職などによる改善	19.3	11.2	29.0	-17.8	・テレワークで勉強をして、より給料の良い仕事へ転職する予定なので(男性36歳・愛知県) ・今年は失業により収入が減ったが、来年は仕事を始めるからよくなると思う(女性36歳・北海道)
3位	希望的観測	14.5	13.5	15.8	-2.3	・先の事はわからないけど、良くなると思っていた方が楽しいから(女性26歳・兵庫県) ・期待を込めて...ですが。良くなると願っています(女性34歳・新潟県)
4位	コロナの収束や反動	6.8	9.0	4.1	+4.9	・コロナが収まり、家計にやさしい時代になると思うから(男性20歳・大阪府) ・我が家の家計も、世の中の経済状況と歩調を合わせるように改善していくと思います(男性55歳・宮城県)
5位	経済の好転	4.5	6.0	2.7	+3.3	・経済回復によって、投資による副次収入が期待できるため(男性42歳・福岡県) ・今年よりは景気がよくなり貯金できると思う(女性53歳・石川県)

「悪くなる」と思う理由

※自由回答を集計したトップ5。%は「悪くなる」と回答した人ベースで算出 (全体1,143人 男性599人 女性544人)

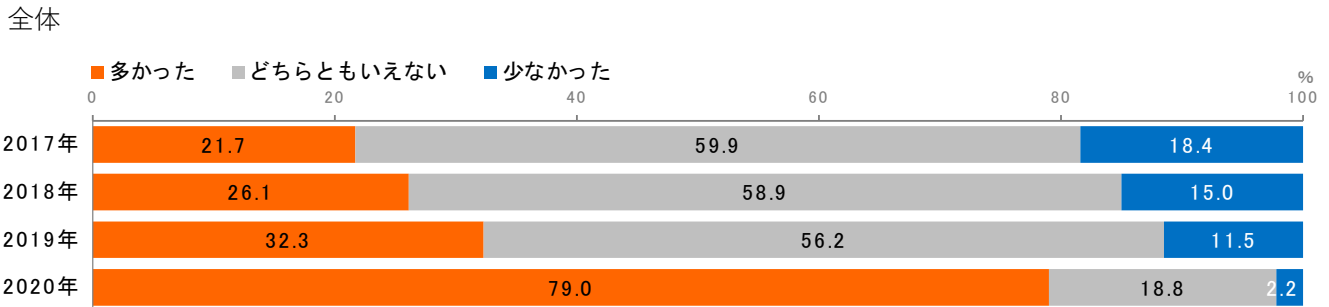
順位	理由	全体				理由の具体例
		全体	男性	女性	男-女	
1位	収入の減少	45.2	41.7	49.1	-7.4	・会社の業績が低下して、それに伴い収入減が予想されるため。(男性45歳・千葉県) ・今働いている会社の売上が下がっています。間違いなく家計は悪くなるでしょう(女性41歳・静岡県)
2位	仕事量の減少や退職、失業	16.7	15.7	17.8	-2.1	・仕事が減る事が予想されるので、家計状態は悪くなります(男性52歳・福岡県) ・定年退職するが、再就職がうまくいかない(男性59歳・新潟県)
3位	景気低迷の継続	11.4	13.9	8.6	+5.3	・今の状況からすぐ良くなるとは思えないから(男性35歳・広島県) ・世間の経済状態が悪いのに私の家計が良くなるはずないと思います(女性64歳・大阪府)
4位	コロナの長期化	11.3	13.2	9.2	+4.0	・コロナの影響で景気が悪く、来年のボーナスが減額し収入が減りそうだから(男性31歳・東京都) ・コロナで仕事がどうなるかわからないから(女性37歳・広島県)
5位	出費の増加	8.0	5.5	10.8	-5.3	・消毒、マスクなどコロナ用品は買い続けたいといけなくて(女性48歳・愛知県) ・収入は変わらないが物価、税金は上がっているため厳しい状況が続くと考えてます(女性58歳・北海道)

今年の変化は「多かった」が激増で約8割。来年「多くなる」との予想も増え、約半数に

- ・今年「世の中の変化」は、「多かった」が前回調査から2倍以上増えて、約8割(79.0%)となりました。
- ・来年「世の中の変化」予想も同様に、「多くなる」が前回から大きく増加して、約半数(49.1%)に至りました。
- ・「多くなる」と予想する変化(自由回答)をみると、「コロナと共存するための新しい生活様式」(全回答数の27.7%)が最も多く挙がりました。他にも、「コロナによる自粛や制約」(11.8%)、「デジタル化の加速」(9.4%)、「働き方の変革」(5.8%)など今年変化したことが、来年さらに変化するという予想が目立ちます。

今年「世の中の変化」

今年、あなたからみた世の中のことで「変わった」と感じることは、多かったですか。(単一回答)



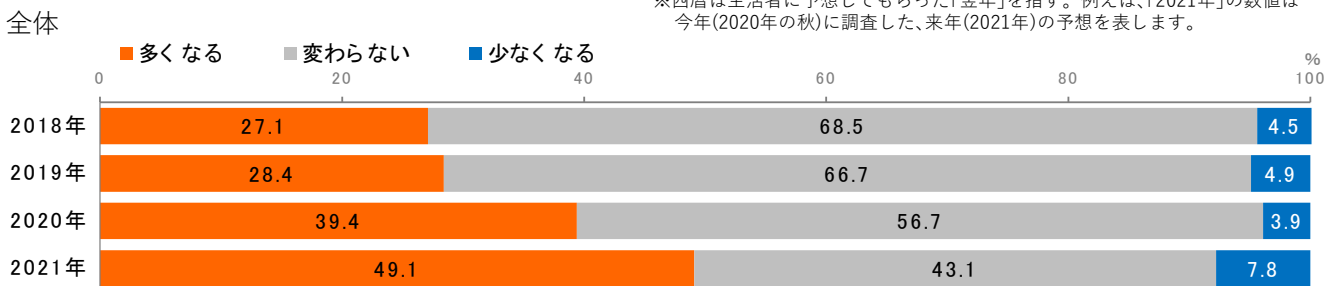
性別(2020年)



来年「世の中の変化」予想

来年、あなたからみた世の中のことで「変わった」と感じることは、今年と比べて多くなると思いますか。(単一回答)

※西暦は生活者に予想してもらった「翌年」を指す。例えば、「2021年」の数値は今年(2020年の秋)に調査した、来年(2021年)の予想を表します。



性別(2021年)



来年「多くなる」と予想する変化

※自由回答を集計したトップ5。%は「多くなる」と回答した人ベースで算出(全体1,916人 男性968人 女性948人)

順位	変化	全体 (%)	男性 (%)	女性 (%)	男-女 (pt)	予想する変化の具体例
1位	コロナと共存するための新しい生活様式	27.7	27.3	28.2	-0.9	・ウィズコロナの時代となって、さらに変わると思うから(男性61歳・兵庫県) ・今話題の押印が廃止されたり、ペーパーレスの時代になる。キャッシュレス化も進む(女性36歳・愛知県)
2位	コロナによる自粛や制約	11.8	10.6	13.1	-2.5	・コロナウイルスが収束しないから、さまざまな規制が出てくると思う(男性47歳・愛知県) ・コロナウイルスへの対応で、飲食や旅行や医療や学校など変化していきそう(女性51歳・広島県)
3位	デジタル化の加速	9.4	9.5	9.4	+0.1	・デジタル化が進み、効率化により便利な世の中になっていくだろうと思います(男性39歳・北海道) ・コロナを機にオンラインやテレワーク、リモート会議はすくぞく進みそう(女性51歳・石川県)
4位	働き方の変革	5.8	5.1	6.6	-1.5	・社会全体で働き方が今までとはガラッと変わると思う(男性35歳・北海道) ・仕事に対する考え方、必要とされるイノベーションが根本から変わりそう(女性58歳・静岡県)
5位	今までの常識・価値観	5.6	5.3	6.0	-0.7	・コロナウイルスの広がりて人々の考えがガラッと変わると思ったから(女性23歳・新潟県) ・今までの価値観で見直せるものは見直そうという機運が今後高まるだろうから(男性48歳・東京都)

1位「旅行」、2位「貯金」、3位「外食」。いずれも「今年お金をかけた」を上回る

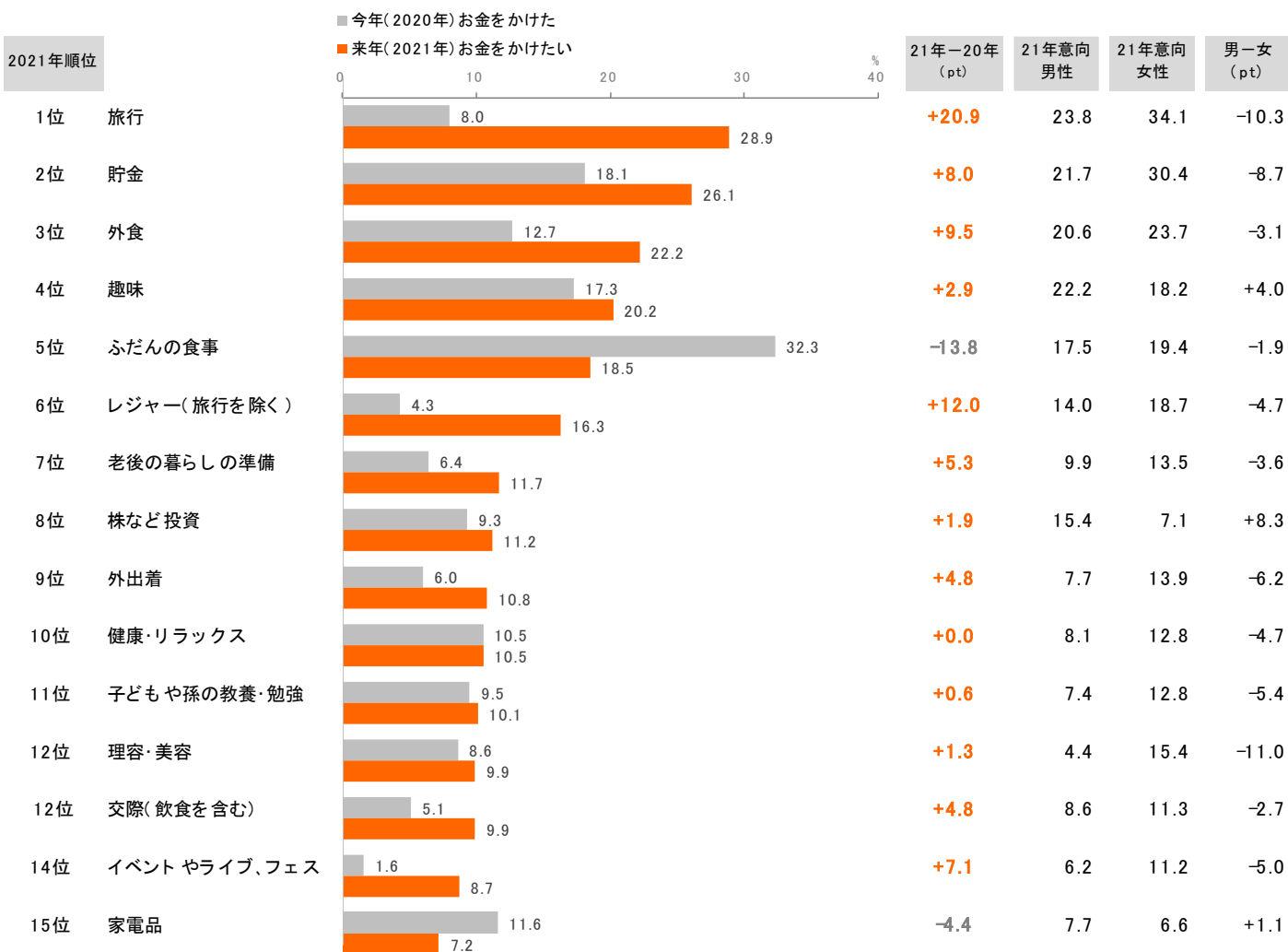
- ・「来年お金をかけたいもの(全25項目)」の上位3位は「旅行」(28.9%)、「貯金」(26.1%)、「外食」(22.2%)。その数値は、いずれも「今年お金をかけた」を上回っています。特に、「旅行」では来年と今年の差が+20.9ptと大きくなっています。
- ・他にも、6位「レジャー」(来年16.3%、今年4.3%、差+12.0pt)、14位「イベントやライブ、フェス」(来年8.7%、今年1.6%、差+7.1pt)でも来年と今年の差が目立ちます。
- ・逆に、5位「ふだんの食事」は今年32.3%に対し、来年の意向は18.5%と低く、その差は-13.8ptとなっています。今年はコロナ禍で外食やレジャーの自粛などを強いられたせいもあり、来年はハレの消費への意欲が高まっているようです。

今年お金をかけた & 来年お金をかけたいもの(上位15位)

今年(2020年)、あなたがお金をかけたものはどれですか。
 来年(2021年)、お金をかけたいと思うものはどれですか。(ともに複数回答)

※全25項目のうち、上位15位までを2021年意向を基準にランキング

全体



始めたいことは「運動・体操・筋トレ」、やめたいことは「無理しての人付き合い」

- ・「来年始めたいことがある」人は27.5%、「来年やめたいことがある」人は18.7%で、ともに減少傾向で過去最低となりました。
- ・「始めたいこと」では、「運動・体操・筋トレ」(29.2%)がトップで、「貯蓄」(25.1%)、「副業」(24.9%)が上位3位となっています。
- ・「やめたいこと」は「無理しての人付き合い」(31.8%)が3割を超えてトップ。次いで、「無駄遣い・衝動買い」(28.6%)、「食べ過ぎ・飲み過ぎ」(24.8%)までが上位3位。無理や過剰を抑制しようとする生活者の意識がみえてきます。
- ・「始めたいこと」、「やめたいこと」とともに、男性より女性の値が高いものが目立っており、「やめたいこと」の6位「スマホの使い過ぎ」、7位「お菓子・甘いもの」で男女差が15pt以上となっています。

来年始めたいことがある

来年、「思い切って始めてみたいこと」はありますか(単一回答)

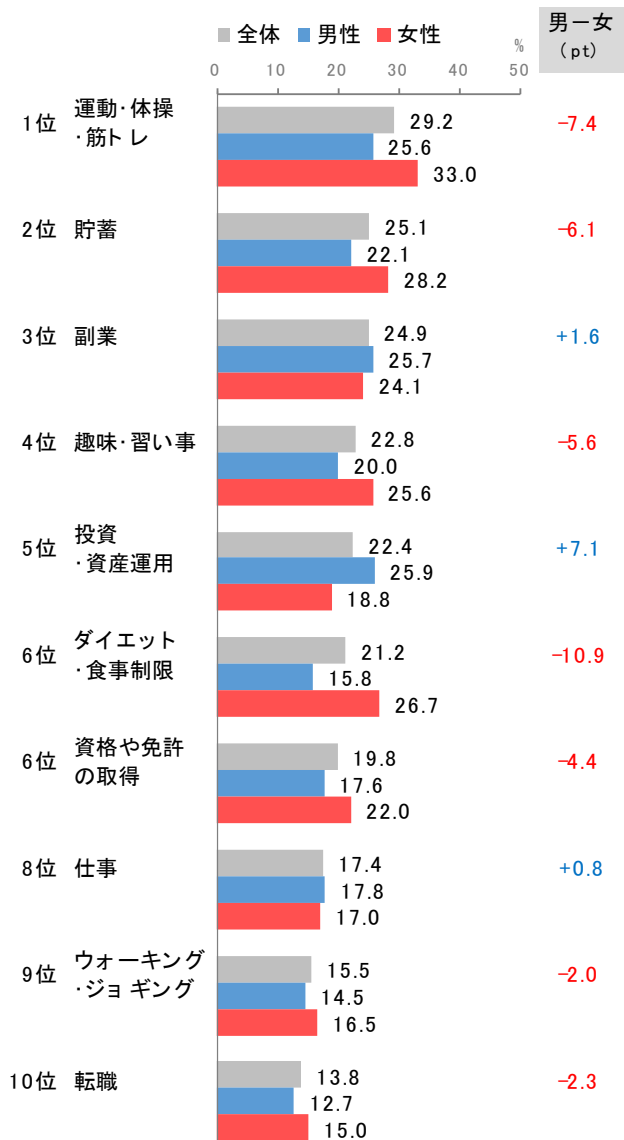
	(%)		(pt)	
	全体	男性	女性	
2017年	35.4	32.4	38.4	-6.0
2018年	31.3	29.1	33.4	-4.3
2019年	30.8	29.1	32.6	-3.5
2020年	29.4	28.6	30.3	-1.7
2021年	27.5	28.0	27.0	+1.0



来年始めたいこと(上位10位)

来年、「思い切って始めてみたいこと」は何ですか(複数回答)

※2020年調査(2021年意向)
 ※始めたいことがある人へのみ質問(全体1,072人 男性544人 女性528人)
 ※数値は、始めたいことがある人ベースで算出
 ※全24行動のうち、上位10位までを全体を基準にランキング



来年やめたいことがある

来年、「思い切ってやめたいこと」はありますか(単一回答)

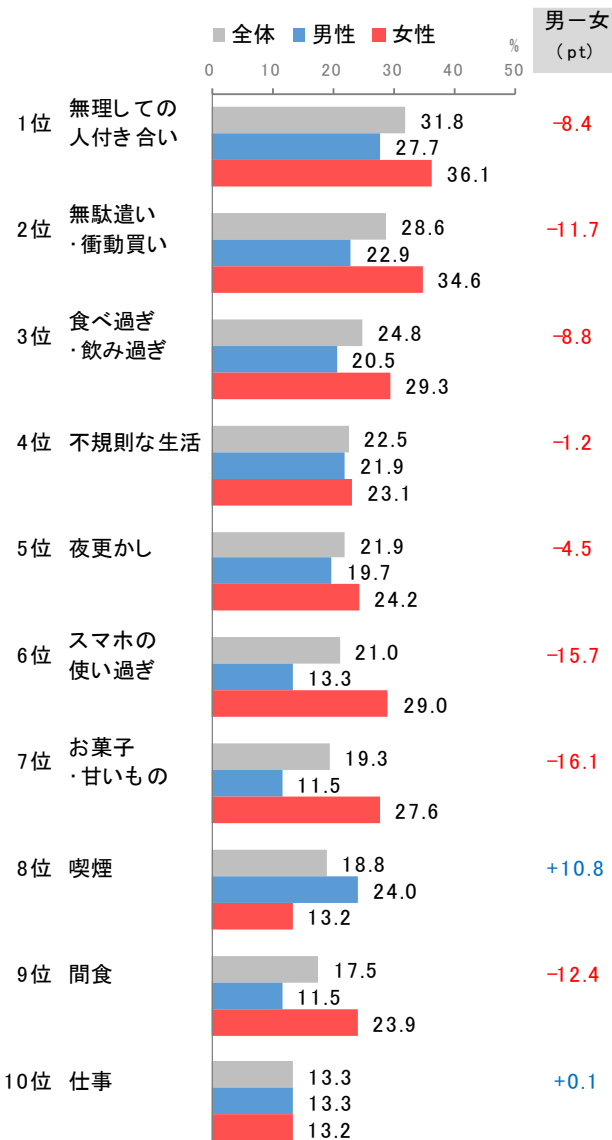
	(%)		(pt)	
	全体	男性	女性	
2017年	23.5	22.9	24.0	-1.1
2018年	20.7	19.5	21.8	-2.3
2019年	20.6	19.4	21.8	-2.4
2020年	19.8	20.2	19.4	+0.8
2021年	18.7	19.3	18.1	+1.2



来年やめたいこと(上位10位)

来年、「思い切ってやめたいこと」は何ですか(複数回答)

※2020年調査(2021年意向)
 ※やめたいことがある人へのみ質問(全体730人 男性375人 女性355人)
 ※数値は、やめたいことがある人ベースで算出
 ※全24行動のうち、上位10位までを全体を基準にランキング



“生活気分” 調査概要

生活者が予想する来年の景況感や生活気分、行動意欲などを時系列で比較する調査。

初回(2016年予想)の2015年11月の調査以来、毎年秋に実施し、今回(2021年予想)は6回目となります。

(2021年予想)

調査地域 全国11都市
首都40 k m圏、名古屋40 k m圏、阪神30 k m圏、
札幌20 k m圏、仙台20 k m圏、新潟30 k m圏、
金沢20 k m圏、静岡20 k m圏、広島20 k m圏、
高松30 k m圏、福岡30 k m圏
調査手法 インターネット調査
調査対象 20～69歳の男女 3,900人
男性1,944人 女性1,956人
調査時期 2020年10月1日(木)～7日(火)
企画分析 博報堂生活総合研究所
実査集計 株式会社 H.M.マーケティングリサーチ

(2020年予想)

調査対象 20～69歳の男女 3,900人
男性1,944人 女性1,956人
調査時期 2019年10月3日(木)～8日(火)

(2019年予想)

調査対象 20～69歳の男女 3,900人
男性1,938人 女性1,962人
調査時期 2018年10月4日(木)～9日(火)

(2018年予想)

調査対象 20～69歳の男女 3,900人
男性1,935人 女性1,965人
調査時期 2017年10月5日(木)～10日(火)

(2017年予想)

調査対象 20～69歳の男女 3,900人
男性1,941人 女性1,959人
調査時期 2016年10月6日(木)～11日(火)

(2016年予想)

調査対象 20～69歳の男女 3,900人
男性1,939人 女性1,961人
調査時期 2015年11月5日(木)～9日(月)

※調査対象、調査時期以外の調査設計は2021年予想と同じ

【本件に関するお問い合わせ】

株式会社博報堂 広報室 玉・大野 03-6441-6161 koho.mail@hakuodo.co.jp